

習志野市子育て支援に関するニーズ調査（案）

未就学

一 調査ご協力のお願い

日ごろより、習志野市政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、習志野市では、子育て支援のための施策について、子ども・子育て支援法に基づく第1期の「子ども・子育て支援事業計画（2015年度から2019年度まで）」を策定し、また、こども園、市立幼稚園及び市立保育所の整備・再編については第2期の「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画（2014年度から2019年度までの6か年）」を策定し、取り組んでいるところです。

この度、2020年度から2024年度までの第2期の「子ども・子育て支援事業計画」を策定する必要があり、市民の皆様にも、子育てに関するご要望、ご意見などをおうかがいするため、この調査を実施することといたしました。各ご家庭の保育、教育に対する潜在的な需要も含めて把握させていただき、「子ども・子育て支援事業計画」等に反映させたいと考えております。

この調査は、住民基本台帳の中から、就学前のお子さんを無作為に2,500人抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の内容が他にもれたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

つきましては、突然の依頼にてお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

20●●年●月 習志野市長 宮本 泰介

ご記入にあたって

- 1 特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**についてご記入ください。
- 2 ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合**があります。
- 3 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なります**ので注意書きに従ってください。また「**その他**」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- 5 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 6 設問文や選択肢に出てくる事業名等がわからない場合には、**同封の資料**を参照してください。
- 7 ご記入が済みましたら、同封の**返信用封筒**に入れて、**20●●年●月●日（●）まで**に郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）

【調査に関するお問い合わせ先】

習志野市役所こども部こども政策課

電話：047-453-7397

※回答者について：この調査は、封筒のあて名のお子さんに関してうかがうものです。回答は、お子さんの保護者をお願いいたします。また、父親と母親それぞれに「就労に関する意識」をうかがう質問が複数含まれます。配偶者のことについてご回答いただく場合には、配偶者のご意見を確認したうえでのご回答をお願いいたします。なお、父子家庭・母子家庭の方は、配偶者のことについてうかがう質問には、ご回答いただく必要はございません。

1. お住まいの地区についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどの中学校区になりますか。あてはまる中学校名の番号に1つだけ○をつけてください。

中学校名	中学校区
1. 第一中学校	谷津1丁目・2丁目(3番～23番)・3丁目(2番～30番)・4丁目～7丁目、奏の杜1丁目～3丁目
2. 第二中学校	大久保1丁目～4丁目、本大久保1丁目・4丁目(9番～14番・17番～19番)・5丁目、藤崎5丁目(2番～5番・8番・12番～15番)・6丁目、泉町1丁目～3丁目、実籾1丁目(18番～44番)・2丁目(21番～41番)、実籾本郷(21番～26番)、新栄1丁目・2丁目
3. 第三中学校	袖ヶ浦1丁目～6丁目、津田沼6丁目(1番～3番)・7丁目(1番・2番・18番)、谷津2丁目(1番・2番)、谷津町1丁目(国道14号線以南)、鷺沼1丁目・2丁目(1番～12番)・3丁目～5丁目
4. 第四中学校	東習志野1丁目～8丁目、実籾1丁目(1番～17番)・2丁目(1番～20番)・3丁目～6丁目、実籾本郷(1番～20番・27番～35番)
5. 第五中学校	津田沼1丁目～5丁目・6丁目(4番～14番)・7丁目(3番～17番)、藤崎1丁目～4丁目・5丁目(1番・6番・7番・9番～11番)・7丁目、谷津町1丁目(国道14号線以北)・4丁目、鷺沼台1丁目・2丁目、鷺沼2丁目(13番～19番)
6. 第六中学校	屋敷1丁目～5丁目、花咲1丁目・2丁目、本大久保2丁目・3丁目・4丁目(1番～8番・15番・16番)、鷺沼台3丁目・4丁目
7. 第七中学校	秋津1丁目～5丁目、香澄1丁目～6丁目、茜浜1丁目～3丁目、芝園1丁目～3丁目、谷津3丁目(1番)

2. 封筒のあて名のお子さんについてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月をうかがいます。

平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、あて名のお子さんは、上から何人目のお子さんですか。

人 上から 人目

問8で「3.」または「4.」を選ばれた方にうかがいます。

問 8-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、うかがいます。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他 ()

5. あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（1）と（2）のそれぞれについて、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、[] に数字をご記入ください。
※時間は必ず「9:00～18:00」のように 24 時間制でご記入ください。

（1）母親（父子家庭の方は回答不要です）

1. フルタイムで就労している
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中
3. パートタイム、アルバイト等で就労している
4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

問9の「（1）母親」で、「1. ～4.」を選ばれた方にうかがいます。

問 9-1 1週間当たりの平均の就労時間と、働いている日の平均的な家を出る時間・帰宅時間を記入してください。育休・介護休業中のか方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は必ず「9:00～18:00」のように 24 時間制でご記入ください。

【 1週間当たりの平均の就労時間 [] 時間 】

【 平均的な家を出る時間 [:] 帰宅時間 [:] 】

問9の「（1）母親」で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にうかがいます。（該当しない方は、問 9-5 へ）

問 9-2 お母様の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。「2. 有（1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい）」を選ばれた方は、（ ）内に、何歳になった時か具体的に記入してください。

1. 有（すぐにでも、または1年以内に就労したい） (→ 問 9-3 へ)
2. 有（1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい） (→ 問 9-3 へ)
3. 無 (→ 問 9(2) へ)

問 9-3 と問 9-4 は、問 9-2 で「1. 有（すぐにでも、または1年以内に就労したい）」または「2. 有（1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい）」を選ばれた方にうかがいます。

問 9-3 希望する就労形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（パートタイム、アルバイト等を希望の方は1週当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。）

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労
→（1週当たり〔 〕日・1日当たり〔 〕時間）

問9の「(1) 母親」で「3. パートタイム、アルバイト等で就労している」または「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、育児休業・介護休業中」を選ばれた方にうかがいます。（該当しない方は、問9(2)へ）

問 9-4 フルタイムへの移行希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. フルタイムへの移行希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの移行希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等が続けたい
4. パート・アルバイト等をやめて育児や家事に専念したい

(2) 父親（母子家庭の方は回答不要です）

1. フルタイムで就労している
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中
3. パートタイム、アルバイト等で就労している
4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

問9の「(2) 父親」で、「1. ～4. 」を選ばれた方にうかがいます。

問 9-5 1週間当たりの平均の就労時間と、働いている日の平均的な家を出る時間・帰宅時間を記入してください。育休・介護休業中のか方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は必ず「9:00～18:00」のように 24 時間制でご記入ください。

【 1週当たりの平均の就労時間 〔 〕時間 】

【 平均的な家を出る時間〔 : 〕 帰宅時間〔 : 〕 】

問9の「(2) 父親」で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にうかがいます。（該当しない方は、問 9-8へ）

問 9-6 お父様の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。「2. 有（1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい）」を選ばれた方は、（ ）内に、何歳になった時か具体的に記入してください。

1. 有（すぐにでも、または1年以内に就労したい） (→ 問 9-7 へ)
2. 有（1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい） (→ 問 9-7 へ)
3. 無 (→ 問 10 へ)

問 9-7 と 問 9-8 は、問 9-6 で「1. 有（すぐにでも、または1年以内に就労したい）」または「2. 有（1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい）」を選ばれた方にうかがいます。

問 9-7 希望する就労形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（パートタイム、アルバイト等を希望の方は1週当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。）

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労
→（1週当たり〔 〕日・1日当たり〔 〕時間）

問9の「(2) 父親」で「3. パートタイム、アルバイト等で就労している」または「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中」を選ばれた方にうかがいます。（該当しない方は、問 10 へ）

問 9-8 フルタイムへの移行希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. フルタイムへの移行希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの移行希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等を続けたい
4. パート・アルバイト等をやめて育児や家事に専念したい

6. 育児休業制度や短時間勤務制度など職場の両立支援制度の利用についてうかがいます。

※ 問9の「(1) 母親」と「(2) 父親」でどちらも「6. これまでに就労したことがない」を選ばれた方は、問13にお進みください。母子家庭・父子家庭の場合、ご自身が問9で「6. 」の方も問13にお進みください。

問 10 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 主に母親
2. 主に父親
3. 主に祖父母
4. その他

問 10 で「1. 主に父親」または「2. 主に母親」を選ばれた方にうかがいます。（該当しない方は、問13 へ）

問 10-1 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。また、取得していない方は、下の理由の中から、あてはまる番号すべてを「取得していない理由」の欄に記入してください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

取得しなかった理由	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所 (園) などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にもてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した 15. その他 ()
-----------	--

問 10-1 で「2. 取得した (取得中)」を選ばれた方にうかがいます。（該当しない方は、問13へ）

問 10-2 育児休業取得後、職場には復帰しましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問 10-3 と問 10-4 は、問 10-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。「2. 現在も育児休業中である」を選ばれた方は問11へ、「3. 育児休業中に離職した」を選ばれた方は問13へお進みください。

問 10-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初め（4月1日）の保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。
 ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰し一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問 10-4 育児休業からは実際にお子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月まで取りたかったですか。枠内に数字をご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
----------------------	-----------------

問 10-4 で、実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 10-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()

② 父親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

② 父親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

問 10-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。

問 10-6 職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

1. 短時間勤務制度を利用した
2. 制度を利用したかったが、できなかった
3. 制度を利用するつもりはなく利用していない

※「2.」を選んだ方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用したかったのに、できなかった理由は何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度がなかった
2. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がるため利用しなかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額されるため、経済的理由により利用しなかった
4. 短時間勤務制度はあったが、職場に使う雰囲気なかった
5. 制度があることを知らなかった
6. その他 ()

(2) 父親

1. 短時間勤務制度を利用した
2. 制度を利用したかったが、できなかった
3. 制度を利用するつもりはなく利用していない

※「2.」を選んだ方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用したかったのに、できなかった理由は何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度がなかった
2. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がるため利用しなかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額されるため、経済的理由により利用しなかった
4. 短時間勤務制度はあったが、職場に使う雰囲気がなかった
5. 制度があることを知らなかった
6. その他 ()

問10-2で、「2. 現在も育児休業中である」を選ばれた方にうかがいます。(該当しない方は、問13へ)

問11 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業(保育施設等)があれば、1歳になるまで、育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復職したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復職したい |
|----------------------|-----------------|

問11で、「1. 1歳になるまで育児休業を取得したい」を選ばれた方にうかがいます。
(該当しない方は、問13へ)

問12 あて名のお子さんについて、1歳を超えて育児休業を取得したいと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 1歳を超えて育児休業を取得したい | 2. 1歳になったら復職したい |
|---------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 1歳を超えて育児休業を取得したい | 2. 1歳になったら復職したい |
|---------------------|-----------------|

すべての方に向かいます。

問 13 次のことをご存知でしたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- ①子どもが原則1歳になるまで（保育所での保育が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月、更新により最大2歳まで）の間、「育児休業給付が支給される」仕組み。
- ②子どもが満3歳になるまでの育児休業など（法定の育児休業、および企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置）の間、健康保険および厚生年金保険の「保険料が免除される」仕組み。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた2. 育児休業給付のみ知っていた3. 保険料免除のみ知っていた4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|---|

7. 子育てを支援する事業について、すべての方に向かいます。

問 14 あて名のお子さんは、現在、こどもセンター等の子育て支援事業の施設（※同封の資料参照）を利用していますか。次の中から、あてはまる答えの番号 すべてに○ をつけてください。また、週当たりのおおよその利用回数（頻度）を記入してください。

- 1. こどもセンター、つどいの広場（きらっ子ルーム） → 週〔 〕回 月〔 〕回
- 2. 社会福祉協議会の子育てサロン及び幼児教室等 → 週〔 〕回 月〔 〕回
- 3. 利用していない

問 14 で「1.」または「2.」を選ばれた方に向かいます。（該当しない方は、問 15 へ）

問 14-1 子育て支援事業の施設に行く際の主な交通手段について、あてはまる答えの番号 すべてに○ をつけてください。

- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. オートバイ
- 4. 自家用車
- 5. バス
- 6. 電車
- 7. その他（ ）

問 15 今後、子育て支援事業の施設を利用したいと思いますか。あてはまる答えの番号 すべてに○ をつけてください（現在利用している方もお答えください）。また、週当たりのおおよその利用回数（頻度）を記入してください。

- 1. こどもセンター、つどいの広場（きらっ子ルーム） → 週〔 〕回 月〔 〕回
- 2. 社会福祉協議会の子育てサロン及び幼児教室等 → 週〔 〕回 月〔 〕回
- 3. 利用していない

問 15 で「1.」または「2.」を選ばれた方に向かいます。（該当しない方は、問 16 へ）

問 15-1 自宅から子育て支援事業の施設までは、どのくらいまでならば通うことができますか。数字をご記入ください。

_____ k m

8. 日中の定期的な保育・教育の事業の利用（幼稚園などを含む）についてうかがいます。

※ここでいう「日中の定期的な保育・教育の事業」とは、月単位であて名のお子さんが定期的に利用している事業を指し、具体的には問 16-1 の選択肢で示した事業が含まれます。これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します（例えば、認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています）。

問 16 は、すべての方にかがいます。

問 16 あて名のお子さんの現在の保育・教育の事業の利用の有無について、うかがいます。日中の定期的な保育・教育の事業を利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している (→ 問 16-1 へ)
2. 利用していない (→ 問 16-4 へ)

問 16-1 から問 16-3 は、問 16 で「1. 利用している」を選ばれた方にかがいます。

問 16-1 あて名のお子さんは、平日の日中に、どのような保育・教育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

幼稚園・こども園 市立の保育所・	1. 市立認可保育所 2. 市立幼稚園（通常の就園時間） 3. 市立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業の定期的な利用） 4. 市立認定こども園（短時間「9時から14時のみ」の利用） 5. 市立認定こども園（長時間「9時から14時を超えて」の利用）
幼稚園・こども園 私立の保育所・	6. 私立認可保育所 7. 私立幼稚園（通常の就園時間） 8. 私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業の定期的な利用） 9. 私立認定こども園（短時間「9時から14時のみ」の利用） 10. 私立認定こども園（長時間「9時から14時を超えて」の利用）
その他	11. 認可外事業施設 12. 小規模保育事業所 13. 家庭的保育（保育者の過程で5人以下の子どもを保育する事業） 14. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子ども家庭で保育する事業） 15. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） 16. ひまわり発達相談センター 17. その他（ ）

※認可保育所 : 国の最低基準に適合し、都道府県が認可した、定員20人以上の施設

※小規模保育事業 : 国の最低基準に適合し、市町村の認可した、概ね定員6～19人の施設

※認定こども園 : 保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設

※事業の詳細については、同封の資料をご覧ください。

問 16-2 現在の保育・教育の事業の利用状況について、うかがいます。

平日の日中、主に利用する定期的な保育・教育の事業（延長保育なども含めます）について、1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれ数字を記入してください。

※時間は必ず「9:00～18:00」のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在	1週当たり _____ 日	1日当たり _____ 時間 (_____ : _____ ~ _____ : _____)
(2) 希望	1週当たり _____ 日	1日当たり _____ 時間 (_____ : _____ ~ _____ : _____)

問 16-3 平日の日中の定期的な保育・教育の事業を利用している理由について、うかがいます。主な理由1つを選び、あてはまる答えの番号に○をつけてください。

あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定である／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため必要だと思う
7. その他 ()

問 16-4 は、すべての方にうかがいます。

問 16-4 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日日中の保育・教育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

市立の 幼稚園・こども園 ・ 保育所	1. 市立認可保育所 2. 市立幼稚園（通常の就園時間） 3. 市立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業の定期的な利用） 4. 市立認定こども園（短時間「9時から14時のみ」の利用） 5. 市立認定こども園（長時間「9時から14時を超えて」の利用）
私立の 幼稚園・こども園 ・ 保育所	6. 私立認可保育所 7. 私立幼稚園（通常の就園時間） 8. 私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業の定期的な利用） 9. 私立認定こども園（短時間「9時から14時のみ」の利用） 10. 私立認定こども園（長時間「9時から14時を超えて」の利用）
その他	11. 認可外事業施設 12. 小規模保育事業所 13. 家庭的保育（保育者の過程で5人以下の子どもを保育する事業） 14. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子ども家庭で保育する事業） 15. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） 16. ひまわり発達相談センター 17. その他 ()

- ※認可保育所 : 国の最低基準に適合し、都道府県が認可した、定員20人以上の施設
 ※小規模保育事業 : 国の最低基準に適合し、市町村の認可した、概ね定員6～19人の施設
 ※認定こども園 : 保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設
 ※事業の詳細については、同封の資料をご覧ください。
 ※事業の詳細については、同封の資料をご覧ください。

問 16-1 で「1.」～「10.」を選ばれた方にうかがいます。(該当しない方は、問 17 へ)

問 16-9 認可保育所、幼稚園、認定こども園について、あて名のお子さんを通わせている施設を選んだ理由は何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(1) 認可保育所

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 通園距離や立地条件が適しているから (自宅・職場に近い、通勤経路にある等) | |
| 2. 市立 (公立) だから | 3. 私立だから |
| 4. 施設・設備が充実しているから | 5. 保育料が安かったから |
| 6. 保育方針が良かったから | 7. 保育士の資質が良いと感じたから |
| 8. 他の施設の定員の空きがなかったから | 9. その他 () |
| 10. 特に理由はない | |

(2) 幼稚園

- | | |
|--|----------------------|
| 1. 通園距離や立地条件が適しているから (自宅・職場に近い、通勤経路にある等) | |
| 2. 通園区域だったから | 3. 市立 (公立) だから |
| 4. 私立だから | 5. 施設・設備が充実しているから |
| 6. 教育費が安かったから | 7. 教育方針が良かったから |
| 8. 教職員の資質が良いと感じたから | 9. 他の施設の定員の空きがなかったから |
| 10. その他 () | 11. 特に理由はない |

(3) 認定こども園

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 通園距離や立地条件が適しているから (自宅・職場に近い、通勤経路にある等) | |
| 2. 通園区域だったから | 3. 市立 (公立) だから |
| 4. 施設・設備が充実しているから | 5. 保育料が安かったから |
| 6. 保育・教育方針が良かったから | 7. 職員の資質が良いと感じたから |
| 8. 他の施設の定員の空きがなかったから | 9. 保育と教育を受けられるから |
| 10. その他 () | 11. 特に理由はない |

問 16 で「2. 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。

問 16-10 保育・教育の事業を利用していない理由は何ですか。主な理由を1つだけ選び、あてはまる答えの番号に○をつけてください。選択肢「8.」を選ばれた場合は、利用開始希望年齢もご記入ください。

1. 子どもの父親・母親のどちらかがみている
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 利用したいが、事業の質や場所などで納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため → (_____ 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

問16-4で、利用したい事業として「2.」「3.」「7.」「8.」の幼稚園または幼稚園の預かり保育を選び、かつそれ以外(「1.」「4.～6.」「9.～17.」)のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問 17 特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育を合せて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

あて名のお子さんの土曜日・休日の「定期的な」保育・教育の利用希望について、すべての方にかがいます。

問 18 あて名のお子さんについて、土曜日または日曜日・祝日に、定期的な保育・教育の事業（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。土曜日と日曜日・祝日のそれぞれについて、あてはまる答えの番号 1 つずつに○をつけてください。併せて、利用したい時間帯を記入してください。
※時間は必ず「9:00～18:00」のように 24 時間制でご記入ください。

【土曜日】 ※認可保育所を平日に利用している場合、土曜日保育の追加費用はありません。

1. ほぼ毎週利用したい }
2. 月に1～2回は利用したい } ⇒ 利用したい時間帯をお答えください。
3. 利用希望はない } (____ : ____ から ____ : ____ まで)

【日曜日・祝日】 ※現在、市内1保育所にて実施。事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。(1日3,600円)

1. ほぼ毎週利用したい }
2. 月に1～2回は利用したい } ⇒ 利用したい時間帯をお答えください。
3. 利用希望はない } (____ : ____ から ____ : ____ まで)

問 16-1 で「2.～5.」または「7～10.」の認定こども園または幼稚園を選ばれた方にかがいます。(該当しない方は、問20へ)

問 19 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業期間中に保育・教育の事業の利用を希望しますか。あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。併せて、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は必ず「9:00～18:00」のように 24 時間制でご記入ください。

※現在、市内で認定こども園及び私立幼稚園にて実施。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。(認定こども園：半日 560 円・1日 1,120 円。別途給食・おやつ代を徴収。私立幼稚園は各園で異なります)

1. 休みの期間中ほぼ毎日利用したい }
2. 休みの期間中週に数日利用したい } ⇒ 利用したい時間帯をお答えください。
3. 利用希望はない } (____ : ____ から ____ : ____ まで)

9. 幼児教育・保育の無償化について、すべての方にかがいます。

問 20 幼児教育や保育が無償化となった場合、問 16-1 の「1.」～「16.」の中で主に利用したいと思う事業はどれですか。枠内に 番号を 1 つだけ記入してください。

幼児教育・保育の無償化

消費税が10%に増税となる2019年10月より、0～2歳児の保育は住民税非課税の世帯を対象に無償化され、3～5歳児の認可保育園、幼稚園、認定こども園は所得を問わずに無償化される予定です。認可外施設は、認可保育所の保育料の全国平均額を上限に支援される方向です。なお、一時預かりについては、一定の条件により無償化される予定です。

10. 認可保育所、幼稚園、認定こども園のあり方について、すべての方に向かっていきます。

問 21 認可保育所、幼稚園、認定こども園に対して、どのようなことを期待しますか。(1)～(3)のそれぞれについて、あてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。

(1) 認可保育所

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 集団生活のルールやきまりなど社会性の育成 | 2. 遊びを通じた豊かな体験 |
| 3. 仲間・友だちづくり | 4. 豊かな心情を育てる情操教育 |
| 5. 基本的生活習慣の確立 | 6. 健やかな体づくり |
| 7. 知的教育 | 8. 情報提供や相談体制 |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

(2) 幼稚園

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 集団生活のルールやきまりなど社会性の育成 | 2. 遊びを通じた豊かな体験 |
| 3. 仲間・友だちづくり | 4. 豊かな心情を育てる情操教育 |
| 5. 基本的生活習慣の確立 | 6. 健やかな体づくり |
| 7. 知的教育 | 8. 情報提供や相談体制 |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

(3) 認定こども園

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 集団生活のルールやきまりなど社会性の育成 | 2. 遊びを通じた豊かな体験 |
| 3. 仲間・友だちづくり | 4. 豊かな心情を育てる情操教育 |
| 5. 基本的生活習慣の確立 | 6. 健やかな体づくり |
| 7. 知的教育 | 8. 情報提供や相談体制 |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

問 22 現在の認可保育所、幼稚園、認定こども園に対して、改善すべき点がありますか。(1)～(3)のそれぞれについて、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(1) 認可保育所

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 利用できる時間が短い | 2. 定員の拡充 |
| 3. 料金が高い | 4. 施設までの交通が不便 |
| 5. 施設・設備 | 6. 遊びや学びのプログラム |
| 7. 保育士の対応 | 8. その他 () |
| 9. 特にない | |

(2) 幼稚園

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 利用できる時間が短い | 2. 定員の拡充 |
| 3. 料金が高い | 4. 施設までの交通が不便 |
| 5. 施設・設備 | 6. 遊びや学びのプログラム |
| 7. 保育士の対応 | 8. その他 () |
| 9. 特にない | |

(3) 認定こども園

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 利用できる時間が短い | 2. 定員の拡充 |
| 3. 料金が高い | 4. 施設までの交通が不便 |
| 5. 施設・設備 | 6. 遊びや学びのプログラム |
| 7. 保育士の対応 | 8. その他 () |
| 9. 特にない | |

12. 不特定の保育・教育の事業の利用（冠婚葬祭、リフレッシュ、不特定の就労、子どもの遊び場の確保等）について、すべての方にうかがいます。

問 25 あて名のお子さんに関して、平日日中の定期的な保育・教育や、病気等の際に利用する以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、保護者の通院、不特定の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけて、年間利用日数（おおよそ）も記入してください。

1. 一時預かり（認可保育所・認定こども園で実施） _____日
（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）
2. ベビーシッター _____日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） _____日
4. 幼稚園の預かり保育 _____日
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）
5. 利用していない

問 25 で「5. 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。（該当しない方は、問 26 へ）

問 25-1 利用していない理由は何ですか。当てはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 利用したい事業が地域にない
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料が判らない
6. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
8. その他（ _____ ）
9. 特に利用する必要がない

問 26 あて名のお子さんに関して、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、保護者の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業（問25の1～4）を利用する必要があると思いますか。あてはまる答えの番号 1 つに○をつけて、年間利用希望日数の合計（おおよそ）を記入してください。また、理由の内訳について、あてはまるものそれぞれの日数（おおよそ）を記入してください。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（一時預かり：乳児1日 2,600 円・幼児1日 1,400 円程度、預かり保育：1時間 170 円程度）

1. 利用したい _____日

（理由別）

- | | |
|------------------------|--------|
| ① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 | _____日 |
| ② 冠婚葬祭、子どもの親の病気 | _____日 |
| ③ 不特定の就労 | _____日 |
| ④ その他（ _____ ） | _____日 |

2. 利用する必要はない

問 26 で「1. 利用したい」を選ばれた方にうかがいます。(該当しない方は、問 27 へ)

問 26-1 保護者の私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)、保護者の通院、不定期の就労等の目的でお子さんを預ける場合に望ましいと思う事業形態はどれですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 認可保育所・幼稚園で子どもを預かる
2. 認定こども園で預かる
3. こどもセンター等で子どもを預かる
4. ファミリー・サポート・センター等の地域住民が子どもを預かる
5. その他 ()

13. あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりついて、すべての方にうかがいます。

問 27 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことはありましたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. あった(預け先が見つからなかった場合を含む) (→ 問 27-1、2 へ)
2. なかった (→ 最後に へ)

問27で「1. あった」と答えた方にうかがいます。この1年間の、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった場合の対処方法と、その場合の困難度についてうかがいます。

問 27-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数はおよそ何泊ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数を記入してください。

問 27-2 「(同居者を含む)親族・知人に預けた」場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。



<ol style="list-style-type: none"> 1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた _____ 泊 2. ベビーシッターを利用した _____ 泊 3. ファミリー・サポート・センターを利用した _____ 泊 3. 仕方なく子どもも同行させた _____ 泊 4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた _____ 泊 5. その他 () _____ 泊 	(1つに○) 1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難ではない
---	---

最後に、本市の子育て支援施策についてご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、**20●●年●月●日(●)まで**に郵便ポストにご投函ください。